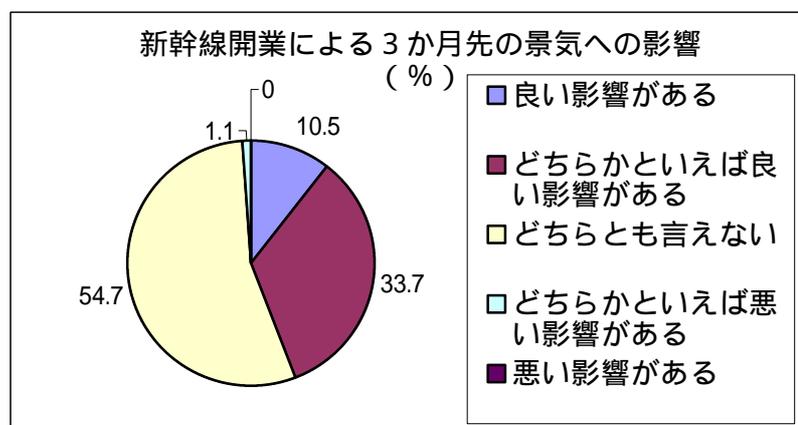
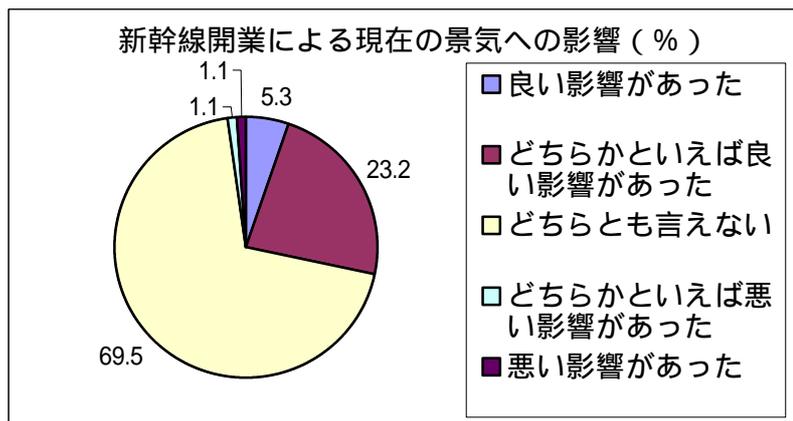


新幹線開業による景気への影響について

～青森県景気ウォッチャーへのアンケート調査～

調査期間 平成15年1月6日～30日 回答率 95%



平成15年2月
青森県企画振興部統計情報課

1 . 本報告書について

平成14年12月1日に、東北新幹線が本県でも開業しました。新幹線開業が景気に与えた影響等について、青森県景気ウォッチャーの方々に答えていただきました。

本報告書は、その結果をまとめたものです。

調査期間

平成15年1月6日～30日 回答率 95%

質問項目

新幹線の県内開業により、現在までの景気に何らかの影響がありましたか。

新幹線の県内開業により、3か月先の景気に何らかの影響があると思いますか。

回答方法

5段階（良い影響があった／ある、どちらかといえば良い影響があった／ある、どちらとも言えない、どちらかといえば悪い影響があった／ある、悪い影響があった／ある）から選択し、その判断理由を自由形式で記述。

2 . 結果概要

(1) 新幹線開業による現在の景気への影響

県全体の動向を見ると、「良い影響があった」、「どちらかといえば良い影響があった」とする回答が合わせて約3割となったものの、およそ7割の景気ウォッチャーは「どちらとも言えない」と回答していた。

判断理由としては、人やものの動きが活発化しているという声がある一方、特定の地域や業種への影響はあるが身の回りでの実感はない、冬季（観光シーズン外）であるなどが挙げられていた。

地区別に見ると、県南地区では6割以上が良い方向の影響を感じていたが、東青、津軽及び下北地区ではどちらとも言えないとする回答が大半を占めた。

分野別に見ると、業種によるはっきりした傾向の違いはみられない。

(2) 新幹線開業による3か月後の景気への影響

県全体の動向を見ると、「良い影響がある」、「どちらかといえば良い影響がある」との回答は合わせて4割を超えた。半数以上の景気ウォッチャーは「どちらとも言えない」と回答していた。

判断理由としては、地域や業種により影響はほとんどないとの見方がある一方、春以降の観光シーズンの来県者増加を期待する声が多かった。これを機にこれまでのやり方等を見直して良い方向につなげたいという声もあった。

地区別に見ると、県南地区では7割近くが良い方向の影響を予想していた。東青、津軽及び下北地区では、3割程度であった。

分野別に見ると、家計関連（小売・サービス）、企業関連を中心に、良い方向の影響があることを見込んでいた。一方、家計関連（飲食）は9割近くが、どちらとも言えないと回答していた。

3. 統計表

表1 新幹線開業が現在の景気に与えた影響（地区別）

(%)

n= 95	良い影響があった	どちらかといえば 良い影響があった	どちらとも言えない	どちらかといえば 悪い影響があった	悪い影響があった
県全体	5.3	23.2	69.5	1.1	1.1
東 青	3.4	10.3	86.2	0.0	0.0
津 軽	7.1	7.1	85.7	0.0	0.0
県 南	6.9	55.2	34.5	3.4	0.0
下 北	0.0	11.1	77.8	0.0	11.1

表2 新幹線開業が現在の景気に与えた影響（分野別）

(%)

n= 95	良い影響があった	どちらかといえば 良い影響があった	どちらとも言えない	どちらかといえば 悪い影響があった	悪い影響があった
合 計	5.3	23.2	69.5	1.1	1.1
家計関連	4.3	22.9	70.0	1.4	1.4
小売	0.0	29.6	70.4	0.0	0.0
飲食	0.0	16.7	75.0	0.0	8.3
サービス	12.0	16.0	68.0	4.0	0.0
住宅	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
企業関連	11.1	22.2	66.7	0.0	0.0
雇用関連	0.0	28.6	71.4	0.0	0.0

表3 新幹線開業が3か月先の景気に与える影響（地区別）

(%)

n= 95	良い影響がある	どちらかといえば 良い影響がある	どちらとも言えない	どちらかといえば 悪い影響がある	悪い影響がある
県全体	10.5	33.7	54.7	1.1	0.0
東 青	3.4	27.6	69.0	0.0	0.0
津 軽	14.3	25.0	60.7	0.0	0.0
県 南	17.2	51.7	31.0	0.0	0.0
下 北	0.0	22.2	66.7	11.1	0.0

表4 新幹線開業が3か月先の景気に与える影響（分野別）

(%)

n= 95	良い影響がある	どちらかといえば 良い影響がある	どちらとも言えない	どちらかといえば 悪い影響がある	悪い影響がある
合 計	9.8	33.7	55.4	1.1	0.0
家計関連	6.0	32.8	59.7	1.5	0.0
小売	3.7	40.7	51.9	3.7	0.0
飲食	0.0	11.1	88.9	0.0	0.0
サービス	12.0	32.0	56.0	0.0	0.0
住宅	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
企業関連	22.2	44.4	33.3	0.0	0.0
雇用関連	14.3	14.3	71.4	0.0	0.0

4. 新幹線開業による現在の景気への影響の判断理由

回答	分野	地区	業種	理由
良い影響があった	家計	津軽	観光名所等	首都圏旅行会社各社が新幹線はやてを目玉としたツアーを組み、そのコースに津軽も含まれているため、予想以上の観光客入込があった。
		県南	タクシー	県内外の人の動きが多くなった様に思う。
			観光型ホテル・旅館	12月の実績で倍の伸び。また2月の冬物語のイベントで集客は前年より早い(出足が)。去年の同時期より伸びると思う。
どちらかといえば良い影響があった	企業	津軽	食料品製造	当社の飲食部門には、12月1日の夜には新幹線に乗ってこられた首都圏のお客様がすでに来客していた。
	家計	東青	観光型ホテル・旅館	今のところ、首都圏からの個人客は動いているようです。
		津軽	スーパー	新規導入した缶ジュース(はやて)が多少売れています。
			設計事務所	八戸地方は人的交流があり良いと思います。弘前地方はメリットはないと思います。
			卸売業	観光客が増えており、一部の地域(場所)では良い状況が出ている。
		県南	レストラン	新幹線が八戸まで来て旅行者が多く来る様になると思っていたが、ごく一部の場所だけの様で、市内はさほどでもない。しかし、春になると陽気もよくなり、旅行者も増え景気もよくなって来る様に思います。
			コンビニ	八戸駅周辺と比べ、自店は町の中心にある為(八戸駅から約3km位いの距離)、それほどの好影響はないも、利用されているサラリーマン等の方々が、自店近くのビジネスホテル等に多く来られる様になったと思う。
		乗用車販売	どこに行っても混雑している。人の多さが目立つ。観光客が相当数、流入しているのではないかと思われる。土、日は飲食店は満杯の店も有る。	
		衣料専門店	開業して約1ヶ月经過。年末年始の人の移動は多かった様ですが、経済効果の程は確りしない。	
		一般飲食店	一部の店ではあるが効果あると感じられる(鮮魚センター)。しかし、中心街に於いてはあまり影響が有るとは言えない。	
		美容院	人の動きが前とちがった。	
		パチンコ	関東(中央)本社より八戸迄の移動時間が短縮され、商談がスピーディになった。	
		スーパー	帰省客が増えたと思う。お土産(1/2~5)がよく伸びた(130%)。年末のごちそうメニューも通期で2桁伸び。春からの行楽ではもっと期待出来る。	
		一般小売店	飲食関連を中心に良い話題を耳にする事が多い(八戸ラーメン等)。(横浜ラーメン博物館に出店しているラーメン店の八戸ラーメンが、1月のテレビラーメン全国ランキングで25位にランクインした。ベスト100まで発表した)	
		商店街	ホテル、レンタカー業界やおみやげ品等の動きに明るいさざし生まれつつある。	
ガソリンスタンド	お得意先である県内大規模温泉に客が増えたと聞いている。			

回答	分野	地区	業種	理由
どちらかといえ ば良い影響が あった	家計	県南	住宅建設販売	東北新幹線八戸開業前後から、マンション建設が具体化してきた。
		企業	東青	食料品製造
	県南		電気機械製造	昨年より明らかに観光客が増えている。単価が安くても、宿泊施設の稼働率が上がって仕事が回っていくのはとても良いことだと思う。東京方面に出張があるので、便数が増えて乗りかえもなくなったことはありがたい。東京方面の人たちもそう思っているのではないか。あとは名古屋方面の直通はできないものか。製造業は東海地区が日本一だから。
			経営コンサルタント	商売の基本になるのは人の動き、ものの動き。それによってお金が動くので、新幹線は間違いなく地域経済にプラスである。
	下北		食料品製造	これ迄より、八戸地区の商品に動きがあった。
	雇用	東青	新聞社求人広告	開業にあたって、祝賀企画を実施した。
		県南	新聞社求人広告	新幹線開業に伴う新聞広告は県内外からの広告出稿もありメリットはあったが一時的なもの。一部には新幹線効果が現れているが地域経済全体への効果はまだまだ。
どちらとも言え ない	家計	東青	百貨店	来店されるお客様の变化は不明。
			家電量販店	特段の変化（来店客、売上等）はない。また、普段の生活でも津軽では話題になることが殆んどない。
			住宅建設販売	住宅の建築には現状影響はない。
			設計事務所	直接的影響が我々の業種には及んでいない。
			美容院	青森市では、直接、なんの感じも受けてない。
			商店街	青森市全体が「他山の石」でムード出ず。急がず、ゆっくり行こう！！（経営者は新幹線よりも企業の倒産防止に懸命です）
			旅行代理店	J Rの取扱いは増加しているが、その分航空機が減少傾向にある。プラス・マイナス0か？
			スーパー	時期的のもの（冬）と思われるが、正確には影響は全く感じられない。
			衣料専門店	特に影響を受けていないから。
			卸売業	青森まで開業したわけではないから。
			一般飲食店	実感が湧かないから。
			レストラン	八戸まで来たお客が、青森まで来るとはかぎらないし、今は冬なので、これから春になって、ゴールデンウィークの時や、「ねぶた」の時に、どのようになるかはわからないと思う。
			スナック	私の仕事から、現在変わった事有りません。
			都市型ホテル	具体的な現象面にはなっていない。周囲の状況も、もう少し様子を見てからという動きになっている。

回答	分野	地区	業種	理由
どちらとも言えない	家計	東青	観光名所等	開業の時期が12月と言うことで、八戸近郊と十和田までで4月か5月ごろからに期待している。
			タクシー	八戸止り。その周辺にのみ上向感あり。春～夏の観光シーズン、十和田北線利用が減じるのでは。
			パチンコ	弊社の営業迄新幹線の影響が波及してない様に思います。
			競輪場	車券売上げに影響がない。
			ガソリンスタンド	青森市ではあまり関心がないようだ。
		津軽	一般飲食店	県外のお客様に伺っても、八戸経由でいらっしゃる方はいない。
			都市型ホテル	弘前地域に入ってくる県外客数は変わらない。JR利用がやや増で、高速バス利用が減という様子だ。
			住宅建設販売	弘前での日々の仕事では、どちらとも言えないと回答せざるを得ない。
			家電量販店	県外からの観光等、季節がら変化がない。
			スナック	それらしいお客様は1人もなかったです。
			観光型ホテル・旅館	当地は変わらない。
			ガソリンスタンド	青森経由より盛岡までの高速バスを利用した方が便利で安い(津軽にとって)。
			百貨店	現状、弘前においては、あまり影響が感じられない。
			一般小売店	県外客等の増加は全くなかったが、弘前市内の商店街のイルミネーションや12月31日のカウントダウンのイベント等が(今回は商業的な効果はなかったが)、次年度から工夫により、経済的効果に結びつけていかなければならないと思う。待っているだけでなく、しかけ作りが必要。
			コンビニ	八戸のことなので、津軽との直接的影響は体感できないでいる。
			衣料専門店	弘前で経済効果今のところ感じない。
			商店街	周りからは特別に新幹線効果があった兆しは見てこない。開業が冬期間であることから、今後観光シーズンに入ったら効果的なものが具体的に出てくるものと思う。
			卸売業	仙台及都心への交通アクセスは、以前とあまり変化したと感じられない。
		旅行代理店	冬季によるお客様の動向が鈍い。それと津軽地方と八戸の距離の問題もあり、春以降でないとならぬ新幹線の影響はつかめないのではないか。	
		県南	観光名所等	私達の名川ですが、駅より遠いと言う事で、別に変りがない。
			百貨店	新幹線八戸駅が開業してから、少しは集客面で影響があったと考えるが、現在では、影響を受けているとは、直接的に感じられない。
スナック	観光バス(シャトルバス)、おみやげ品、屋台村などには、倍以上の客。全体的にはどちらとも言えないと思う。			

回答	分野	地区	業種	理由
どちらとも言えない	家計	県南	設計事務所	日用品、食料品は変わらないと思うが、高額商品は都会に流れるのでは。観光関係やそれに類するのは良く成るかも。中央からセールスマンが来県しやすく成り、地元企業がおびやかされる恐れが有るのでは？
		下北	一般小売店	今のところ、はっきりとした影響はまだありませんが、時間がたてば何かしら影響は出ると思います。
			スナック	八戸周辺以外はまだまだ観光客の足も見られないようです。
			都市型ホテル	八戸-むつ間の整備がなされない以上、県内外からの観光客はむつ市に流れないと思う。
			タクシー	開業してからは、下北駅等の乗降客は直通列車に限り少し多い気がします。青森方面からの乗降客は余り変わらない。
			レストラン	八戸近辺は潤うでしょう。青森県全域を考えたら、今までと変わらないでしょう。
			スーパー	むつ、下北地方にはまだ影響が出ているとは思えない。
			ガソリンスタンド	下北地方は新幹線のスピードアップで好転はしたものの、東京に行くとしても30分の短縮だけで、時間的にはあまり効果がありません。
	企業	東青	経営コンサルタント	新幹線が直接的に影響した実感がまだない。
			津軽	経営コンサルタント
		津軽	電気機械製造	南部はともかく、津軽はあまり影響を受けていないし、電気業界が影響を受けることはほとんどないと思う。
			広告・デザイン	商工団体等々ではイベント等を行い努力はされたのですが、特に良い影響が有ったとは思わない。景気不況下での開業と開業時期（季節）が悪かったと思われる。
			飲料品製造	まだ当地にはそのような影は見られない。
			建設	弘前には直接的な影響はないと思います。
			県南	建設
		県南	食料品製造	製造メーカーには直接わからない。おみやげ品として出しているが、大した動きはない。
			飲料品製造	新幹線開業に連動してオープンした諸施設で当社商品を取り扱って頂いていますが、景気というレベルでの影響は感じられない。
			紙・パルプ製造	あまり顕著な効果は表れていないように思う。
			広告・デザイン	現状、新規の仕事は動いていない。新幹線が開業する前には、その準備としての仕事は発生した。また、当初から言われているスポット現象は現実問題大きい。
			雇用	東青
津軽	新聞社求人広告	弘前市も開業へ向けて、会議所が先導して誘客を図ったが、最初だけ。今のところ、物流も動きなし。		
県南	人材派遣	屋台村の開設や、PRなど、活動は目にするが、街全体に活気を感じられない。予想以上に、変化がなく、驚いている。		

回答	分野	地区	業種	理由
どちらかといえ ば悪い影響が あった	家計	県南	旅行代理店	新幹線を利用して首都圏方面への旅行客が増えたが、当社三沢空港運営のため、減便・機材小型化による減収の影響の方が大きい。
悪い影響があっ た	家計	下北	一般飲食店	理由は分かりませんが、あまりにも12月が隙だったので、皆八戸の新幹線に向いたと思います。私達も休みを利用して行って来ました。とてもこんでいました。おそらくはそちらの方に行ったのではないかと考えています。でもまだまだ一ヶ月のことですから、本当に分かりません。

5. 新幹線開業による3か月先の景気への影響の判断理由

回答	分野	地区	業種	理由
良い影響がある	家計	津軽	百貨店	今後、行楽・観光シーズンを迎えるにあたり、来県される人が多くなると思える。
			観光名所等	今後もはやてを目玉としたツアーが組まれるものと予想され、大なり小なり津軽地区への影響はある。
		県南	レストラン	八戸の土産品の開発とか、いろいろな品物で八戸の産業や商店が良くなり、町全体が良い方になると思います。
			観光名所等	八戸だと、少なからず良い方だと思う。大手食品市場だと新幹線で良い影響がある。
			パチンコ	八戸地域全体で判断すると人の往来が増し、経済の活性に貢献している。
	企業	津軽	食料品製造	当県では首都圏から離れていて、今まで遠いのを理由に、自分達の勝手な思い込みで観光ボケしていたのではないかと。もっと他県など実際に目で見て、大いに見習うべき点が数多くあると思う。自分達のやり方しだいである。
			県南	電気機械製造
		経営コンサルタント		商売の基本になるのは人の動き、ものの動き。それによってお金が動くので、新幹線は間違いなく地域経済にプラスである。
	雇用	津軽	人材派遣	青森県と新幹線の意識が強くなり、遠い・暗いイメージから、ほんの少しだけ脱却できると思う。
	どちらかといえば良い影響がある	家計	東青	家電量販店
乗用車販売				県南方面は影響があると思います。ビジネス、観光面で。
都市型ホテル				魅力ある観光への提案を推し進めることを前提にした願望を含めてのものである。
パチンコ				県南地方には相当のメリットがあると思います。津軽地方には春季になってから徐々に良い影響があると期待も入れて感じます。
ガソリンスタンド				八戸周辺には確実にあると思いますが、県内全般には3ヶ月ではまだないでしょう。
津軽			一般飲食店	最初の何ヶ月かは八戸への観光が多少増えるのでは。八戸にとっては良いと思う。弘前にとっては直接影響ないと思われる。
			都市型ホテル	観光シーズンに入れば、JR利用のツアーが見込める。昨シーズンに比較すれば、おおいに期待が持てる。
			住宅建設販売	全県的には良い影響あるかも。特に八戸そして青森市管内。目玉は観光客の招致だろうが、逆に県内から県外へ出かける（流出）人が多くなつては・・・
			商店街	新幹線及び新幹線にアクセスになる鉄道の乗車率が高まっているとのデータから、観光シーズン到来後に効果が期待できる。
県南			卸売業	これから春に向け、さらに観光客が増えることが予想される。

回答	分野	地区	業種	理由		
どちらかといえ ば良い影響があ る	家計	県南	コンビニ	3ヶ月先とは言えないが、八戸市内での観光、祭り等を目的としての地方からのお客様や、企業・サラリーマン、地域開発を目的として近くのホテルに宿泊されるお客様を対象とした商品の品揃えの見直しにより、売上UPを考えたい。		
			乗用車販売	観光オフシーズンの今でさえ、人の流れが有るのだから、春先になれば更に人の移動が見込まれるのでは無いかと思う。新幹線を利用して日帰り東京へ行ってみたくてと云う人がたくさんいる。		
			衣料専門店	首都圏から八戸まで3時間、早いです。これから春～秋に向けて観光客の増加が期待される。		
			一般飲食店	季節の問題で今一つだと思うが、春に近づくにともない、色々な観光イベントが有るので、客足が増えると思われる。只、政治の不安から来る動向が消費増にストップをかけているのではと思う。		
			タクシー	八戸駅、大手食品市場等へ行ってみると、今までとは全く違う。人ごみが見られる。一時的なものであればよいと思う。		
			美容院	何らかの形で今までとはちがった動きが始まるのではないか。そうする事が必要であると思う。		
			スーパー	市内のマーケットそのものが増える訳ではないが、飲食とか観光業はうるおう。八戸市を基点に多くの人が集まってくると思う。		
			一般小売店	3ヶ月先(4月)と言えば、十和田湖の春の観光シーズンがスタートしているので、以前より新幹線による集客効果が見込めると思う。		
			商店街	首都圏にも新幹線八戸開業が浸透し、また格安パックで来青される方も今後多く見込めそう。したがって、来青する客も今までよりは格段に増え、宿泊、飲食等の需要増が期待出来る。		
			観光型ホテル・旅館	“はやて”効果でよい影響が出ると思う。JRの遠客が動きが早く、去年を上回りそう。中身の分析では、社員、社員家族が入混じり、実績を上げなければという姿勢が見える。これが呼び水となり、お客様が増えてくれればと願います。		
			ガソリンスタンド	春から夏にかけて、旅行者が来八すると予想します。		
			住宅建設販売	観光、産業振興などにインパクトを与えているのは事実で、東北新幹線八戸開業後は、着実な状況変化を実感している。		
				下北	スーパー	春から夏にかけては良い方向へ向かうのではと思う。
			企業	東青	食料品製造	テレビ番組で、県内の観光地の紹介が多くなり、今後観光客に期待出来ること。
経営コンサルタント	冬季アジア大会もあり、新幹線開業との相乗効果により県南地方を中心に一時的な経済効果が期待される。					
津軽	広告・デザイン	開業による大きな影響が有るとは思われないが、春の観光シーズンからは、多少の潤いは期待出来るのでは。				
	飲料品製造	観光客の増加。				
	建設	弘前の地元には影響はないと思います。但し、八戸市、青森市には良いと思います。				
県南	飲料品製造	来県者数は増える訳ですから、我々の努力次第です。				

回答	分野	地区	業種	理由
どちらかといえ ば良い影響があ る	企業	県南	紙・パルプ 製造	本格的な観光シーズンが到来すれば、都心部でのPR効果も奏 して、観光客の増加がのぞめそうに思う。
		下北	食料品製造	春になれば、下北への観光も効果があると思う。
	雇用	東青	新聞社求人 広告	新しい旅行商品の開発、おみやげ品などの創出に期待したい。
どちらとも言え ない	家計	東青	百貨店	来店されるお客様の变化は不明。
			観光型ホテル・旅館	各施設の努力次第と思いますが、現在の景気動向を考えると、 どちらとも云えない。
			住宅建設販 売	住宅の建築には現状影響はない。
			設計事務所	青森まで開通しないと効果は期待出来ない。
			美容院	青森市から東京までの時間を見ても、少し短縮になった程度だ と思う。
			商店街	東京・仙台方面に孫の顔を見るに、年金受給者が出かける機会 が増えるようです。
			旅行代理店	時期的なものもあるが、まだ青森まで効果が波及していないと 思われる。春～夏にかけて期待をしている。
			タクシー	八戸止り。その周辺にのみ上向感あり。春～夏の観光シーズ ン、十和田北線利用が減じるのでは。
			スーパー	春～秋は分らないが、3ヵ月先までは影響は全くないと思う。
			衣料専門店	3ヶ月先では変化があまり感じられないと思う。しかし、8月「 ねぶた」の頃になれば、多少とも良い影響が出るのではないかと 期待しています。
			卸売業	県内へ観光等で来る人が増えそうな気がしないから。冬季アジ ア大会の影響はあるのでしょうか？
			一般飲食店	一寸判らない。
			レストラン	八戸まで来たお客が、青森まで来るとはかぎらないし、今は冬 なので、これから春になって、ゴールデンウィークのときや、 「ねぶた」の時に、どのようになるかはわからないと思う。
			スナック	影響があることを期待するのみです。
		観光名所等	開業の時期が12月と言うことで、八戸近郊と十和田までで4 月か5月ごろからに期待している。春からどうなるか楽しみです。	
		競輪場	電話投票があり、他県から競輪場まで来る必要がない。	
		津軽	家電量販店	地域でのイベント等もないので、夏までは影響がないと思われ る（五所川原立倭武多では多少良いか？）
		スナック	八戸市は良いかも。弘前は何の影響もないと思っております。	
ガソリンス タンド	津軽にはそれほどの影響は無いが、八戸の発展に期待します。			
一般小売店	2月の雪燈籠まつり、4月の桜まつりにどのように結びつける か。そのしかけ作りにより、良くも悪くもなると思うが、現段 階ではどちらとも言えない。			

回答	分野	地区	業種	理由
どちらとも言えない	家計	津軽	コンビニ
			衣料専門店	観光面で多少良くなるかも.....
			レストラン	気持の中で良い方向に向かって行くと思っているが、現実には良くはないと考えている。
			旅行代理店	職業から八戸迄足を伸ばしてよりも、高速利用の盛岡よりの新幹線利用がメリットがある(時間、料金)。
		設計事務所	全県的に新幹線のメリットは非常にうすいと思います。企業の営業者においても盛岡、仙台あたりから日帰りの距離です。地元はメリットはないと考えます。	
		県南	スナック	観光バス(シャトルバス)、おみやげ品、屋台村などには、倍以上の客。全体的にはどちらとも言えないと思う。
			旅行代理店	5月以降あたりになると、新幹線を利用した個人・家族・小グループの旅行は増えると思われるが、会社の慰安旅行等団体旅行は手控え傾向は強まってきている。
			百貨店	地域の景気を押し上げる為には、観光地として集客できるか、企業誘致が加速するか、人口増加があるかなどの要因が考えられるが、現状を考えると、どれもすぐに何とかできるというものではない為、今の状態で推移すると考える。
			設計事務所	日用品、食料品は変わらないと思うが、高額商品は都会に流れるのでは。観光関係やそれに類するのは良く成るかも。中央からセールスマンが来県しやすく成り、地元企業がおびやかされる恐れが有るのでは？
		下北	タクシー	冬期間はツアー客のイベントも無く、変化は無いと思う。アジア冬季大会も下北地区では関連する効果は無し。
	スナック		八戸市と三沢は良い影響があると思いますが、その他の地域は春から夏にならないとわかりません。	
	レストラン		八戸から下北最北端まで約2時間、お客様の足がこの地まで、たとえ来たとしても素通り。良くなるとは思えない。	
	一般飲食店		まだ一ヶ月のことですので、八戸の方が落ち着いたら、どの様になるか本当に分りません。恐らくこれから日本の経済の流れで悪くなると思います。これは新幹線とはあまり関係ないと思います。	
	ガソリンスタンド		4月以後は多少効果が期待されますが、八戸からのバスの利便性がないため、期待できません。私は恐山の責任総代の立場にもあり、新幹線に期待して居りますが、貸切バスに期待して居る様な状況です。早期青森迄の新幹線を望みます。	
	企業	東青	建設	県全体に、これを機に何かを試みようとの気運が見られない。
			津軽	経営コンサルタント
		県南	電気機械製造	南部はともかく、津軽はあまり影響を受けていないし、電気業界が影響を受けることはほとんどないと思う。
			食料品製造	春の観光シーズンを見てみないとわからない。
			建設	3ヵ月先では、十和田市への影響もまだないと思われ、建設業及び当社にとっても同様と思われる。
			広告・デザイン	まだ見えてこない。

回答	分野	地区	業種	理由
どちらとも言えない	雇用	東青	人材派遣	営業基盤が青森中心であり変化ない。
		津軽	新聞社求人広告	観光・産業面で他県から誘客する動きが本格化すれば、プラスになりそう。だが、新幹線に対する津軽地方はさめたもので、足の利便性では少し効果が出るくらいという話が多い。
		県南	人材派遣	八戸に人が来る、というよりは、八戸の人間にとって仙台や東京がより近く便利になった。入るより、出ていくほうが多いため、大きな変化はないと思う。
			新聞社求人広告	県外の企業（流通・小売、観光）は直接、間接に新幹線開業を契機に青森県からの集客のための販促・PR活動を積極的に県南地区で展開してきている。レジャー、ショッピングなど盛岡や仙台方面への流出は増えそう。大手食品市場や大規模温泉など一部には観光客が増加しているがゼロではないか。
どちらかといえば悪い影響がある	家計	下北	一般小売店	開業以来、八戸駅から北方面へは何人の観光客が来たでしょうか？逆に、下北より盛岡、仙台、東京方面へ向った人の方が多いのではないかと思います。観光収入よりも、他地域へのお客の流出が懸念されます。

本調査についてのお問い合わせ先

〒030-8570（県庁専用）青森市長島1丁目1番1号

青森県企画振興部統計情報課 統計情報分析・利活用グループ

TEL 017-734-9166（直通）

E-mail tokei@ags.pref.aomori.jp